

出雲崎中学校だより

第18号（平成30年1月12日）

発行；校長 中林左知男

【メール】izumo-jh@izumozaki.ed.jp

今年もよろしくお願いたします！



明けましておめでとうございます。降雪の多い日々が続いていますが、学校は9日から3学期を迎え、いよいよ3年生は受験と卒業が迫ってきました。また、1・2年生は、よき先輩になる為の重要な準備期間です。生徒達一人一人にとって充実した年となるよう、職員一同頑張ります。ご協力よろしくお願致します。

人権講演会開催

12月22日(金)終業式に先立ち、出雲崎町の人権擁護委員である磯部友記雄様から人権について、お話をいただきました。「種をまこう」という小冊子（全国人権擁護委員連合会編集）や「じんけん自己診断」などのパンフレットの紹介や自分の幼・小・中学校の中で起きたさまざまな人権に関わるエピソードを紹介いただき、生徒も日頃からお世話になっている方からの真剣な話に聞き入っていました。人権問題の原因でもある差別や偏見を解消し、人の気持ちを考えて行動する大切さを全校生徒で再確認することができました。



学校では、毎年冬休みに職員で人権教育の授業検討会を行い、3学期に各学年の実態に合った人権教育を行います。ご家庭でも人権問題を話題にしていただけると有難いと思っています。

福祉施設訪問（生徒会）

12月27日(水)、奉仕委員会が主体となり、ケアハウス出雲崎グレートヒルズへの訪問活動を行いました。8月に続き今年度2回目となるこの活動には、奉仕委員と吹奏楽部員と希望者で16名の生徒が参加し、餅つきや食事会、吹奏楽部の演奏等の交流をしました。男子だけでなく女子も餅つきに参加し、楽しいひとときを過ごしました。グレートヒルズの方々から「生徒の元気の良い声が響いたり、吹奏楽部の演奏もあり、とても活気に満ちた楽しい会になりました。これからは是非お願いします。」といわれ大変嬉しく思いました。生徒達もみんなにこにこして活動し、美味しくお餅をいただきました。あんこ・きなこ・お雑煮…等々、種類も豊富で大満足でした。このように活躍の場を与えていただき感謝するばかりです。



新春書き初め

今年は、12月に佐藤 博様から、1月は石田栄久様から書道(書き初め)の指導をして頂きました。冬休み中も真剣に書に向き合っていた生徒が多いようです。上手な生徒が多く、さすが良寛生誕の地の子ども達だと思います。9日より清書された書が廊下に掲示されました。また、書き初め展にも出品する予定です。今年は1年生は「雪国紀行」2年生は「友好親善」3年生は「世界遺産」を書きました。時間のある時に来校してご覧ください。1月31日まで展示しています。



始業式の話

1月9日の始業式で次のような話をしました。

2学期の終業式には、スピードスケートの小平奈緒選手の話をしました。覚えていませんか？

「明日死ぬかのように生きよ、永遠に生きるかのように学べ」

という言葉は彼女が大事にしています。この言葉は、インド独立の父マハトマ・ガンジーの言葉です。小平選手は、来月ピョンチャン・オリンピックで金メダルを取るという目標に向けて、この言葉を心に刻み、頑張っています。皆さんにとって参考になれば嬉しいです。

さて、最近「君たちはどう生きるか」という吉野源三郎さんが1938年に書かれた本が、まんがや復刻本となってベストセラーになっています。今から80年前に書かれた本がなぜ今売れているのでしょうか？ 今、世界では、北朝鮮の核実験や核弾道ミサイル発射実験、トランプ大統領のアメリカファースト主義、テロや格差社会、AIによる近未来への心配など、私たちの周りには、将来について不安なことばかりです。そんな不安な時期とこの本の書かれた時代が似ているのかもしれませんが。この先行きの見えない時代だからこそ、どう生きるのかが問われています。つまり「心の在り方」が今まで以上に大事になってきます。「君たちはどう生きるか」は、中学生のコペル君(本名：潤一)が中学校生活の中で貧困・いじめなど様々な出来事を通して成長していくお話です。この本を中学生だけでなく大人も読んで感動しています。どう生きるかは、人間にとって永遠の課題でもあります。そういうことを考える学問が哲学という領域でもあります。

正月、いろいろなニュースや新聞を読んで、ますます「人間としての生き方を考えさせる時代」になってきたと、さまざまな所で発言されたり、書かれていました。2018年がスタートしました。来月はピョンチャンオリンピックが開催されます。2年後は東京オリンピックが開催されます。そんな中、いつ戦争が起こるかわからない状況でもあります。こんな不安な時期だからこそ、どう生きるかが問われています。

私は中学生の頃、よく「どう生きるか？」ということを真剣に考えていたことをよく覚えています。学校の図書館にある本を借りて読んだり、「もう一度生き直そう」という本を買って読んだりしました。皆さんは、今、どのように生きていこうと考えていますか？「人のために生きていこう!」とか「家族が幸せになれるように生きていこう」とか、「世界の平和に貢献できるように」とか、いろいろあると思います。大事なことは、自分なりの考え方をしっかり持つことです。自分の言葉でそれをしっかりいえることが大事です。自分の生き方が、その人の人生を決めるからです。自分はどう生きようか、時には真剣に考える時間をもってみてください。

3学期はまとめの時期ですが、4月からの新生活に向けてのジャンプアップの準備期間です。のんびりしているとあっという間に過ぎます。計画的に1日1日を大切にどう生きるか考えながら、日々を過ごしてほしいと思っています。

3年生は、受験という試練を乗り越えて、4月から新たなステージでのスタートに向けて一層の努力を期待します。2年生には、最高学年として大きく成長し、現3年生を乗り越える活躍を期待します。1年生は、中堅学年です。中学校生活は中堅学年の過ごし方で決まると私は思っています。2年生の時期を大切に過ごしてください。みなさんのそれぞれの活躍を期待して、始業式の話が終わります。



マガジハウス社